

公表

事業所における自己評価結果

| | |
|--------|----------------|
| サービス種別 | 放課後等デイサービス |
| 事業所名 | ドリームズ・21st 徳川校 |

公表日 2026年3月10日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|----|---|----|-----|---|----------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | お子様の活動のためのスペース（個別の部屋等）が十分に確保されているか | ○ | | ・子どもの活動スペースがより活用できるように、工作作品の置き場を考えている。 ・活動以外のものを、片付けている。 | |
| | 2 | 職員の人数は、お子様の人数に対して適切か | ○ | | ・急な参加がある時には、職員の配置を変更するなどの対応をしている。 | |
| | 3 | 教室内はすべてのお子様を想定し、バリアフリー化などの配慮や十分な安全対策がなされているか | ○ | | | |
| | 4 | 事業所内は常に衛生的・清潔な状態が保たれているか | ○ | | ・毎日の清掃の他、その都度清潔となる様、気付いたときに片付けている。 ・教室内の朝の清掃、食事後・おやつ後の清掃、造形活動後の清掃をおこなっている。 | |
| 業務改善 | 5 | 保護者様向け評価表により、保護者様等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | ・指導員が集まり、情報交換を行い、よりよい指導につながるように努めている。 | |
| | 6 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | ・指導員が集まり、情報交換を行い、よりよい指導につながるように努めている。 | |
| 適切な支援の提供 | 7 | お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されているか | ○ | | | |
| | 8 | 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援にかかわる職員が共通理解のもとで、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか | ○ | | ・随時、情報交換、意見交換をして取り組んでいる。 ・支援計画を作成するにあたり、職員で話し合っている。 | |
| | 9 | 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | ・日々の活動で個々の子どもについての共通理解をより図っていく。 |
| | 10 | 定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか | ○ | | | ・保護者との連絡、調整が困難な時には、適切な方法を検討していく。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|--------------|--|----|-----|--|---|
| | 11 お子様の活動が固定化しないようプログラムが工夫されているか | ○ | | ・グループ活動の吟味をしながら、子ども主体で活動できる場面を増やすよう努めている。 | |
| | 12 活動内容についてスタッフに共有されているか | ○ | | ・活動の内容は一覧表にし、目につきやすいところに貼っている | |
| 適切な支援の提供 | 13 お子様の活動意欲が高まるような創意工夫が行われているか | ○ | | | |
| | 14 お子様の自己決定をする力を育てるための支援を行っているか | ○ | | | |
| | 15 お子様個々に対して学習支援などが細かく行われているか | ○ | | ・担当の子を中心にいていねいにかかわることを心掛けている。 ・宿題の内容を把握し、それぞれに合った学習支援ができるよう心掛けている | |
| | 16 お子様の状況に応じた個別活動や集団活動が行われているか | ○ | | ・季節に合わせたグループ活動を取り入れている。 | |
| | 17 支援開始前には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか | ○ | | | |
| | 18 支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | ○ | | ・常勤の指導員が、日々状況を聞いて対応している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか | ○ | | | ・会議になかなか出席できないことが多いので、参画できる体制づくりに努めていきたい。 |
| | 20 学校との情報共有（年間計画・行事予定の交換、お子様の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか | ○ | | ・送迎等で下校時間がはっきりしない時には、学校に確認している。 | |
| | 21 お子様の状況に応じて、学校等をはじめ、関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか | ○ | | ・送迎の時間を活用し担任と話をしている。 | |
| | 22 運営規定、利用者負担等について説明を行っているか | ○ | | | |
| | 23 保護者様との意思の疎通や情報伝達のための手段であるハグシステムについて、十分な説明がなされているか | ○ | | | |
| | 24 ハグシステムなどを通じ、日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができているか | ○ | | ・いつもと違った様子、良いところを見つけた時などは、ハグシステムでお知らせするよう心掛けている。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|--------|--|-----|---------|---|
| 保護者への説明等 | 25 | 個別支援計画を作成する際には、お子様や保護者様の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか | ○ | | |
| | 26 | 個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から個別支援計画の同意を得ているか | ○ | | |
| | 27 | 保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、定期的に個人面談会を開催するなど必要な助言と支援が行われているか | ○ | | ・送迎時に、保護者と直接話をしたり、モニタリングを活用し、助言をしている。 ・定期的な個人面談会を開催している。 |
| | 28 | お子様やその保護者様からの相談や申し入れについて、対応体制を整備し、それを保護者様に周知・説明を行い、相談や申し入れがあった場合は円滑に対応しているか | ○ | | |
| | 29 | ハグシステムやホームページ等で、活動概要や連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して定期的又は必要に応じて発信しているか | ○ | | |
| | 30 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか | ○ | | |
| 非常時等の対応 | 31 | 事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | |
| | 32 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか | ○ | | |
| | 33 | 虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | |
| | 34 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか | ○ | | |